

平成18年度 高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク会議

(第1回) 議事メモ

- 日時：平成18年10月26日(木) 15:00 ~ 17:00
場所：宮崎大学総合研究棟プレゼンテーションルーム
出席者：別紙のとおり
進行係：辻川亨材料物理工学科教授
配付資料：1. 「教育ネットワーク」設立の趣旨
2. 「教育ネットワーク」協議事項(案)
3. 「教育ネットワーク」組織図(案)
4. 平成17年度「数学事前学習指導アンケート」について
5. 参考資料(工学部概要、進路状況)

1. 開会挨拶

- ・本田親久工学部長より、本会議の急な連絡のお詫びとともに、多数の参加を頂いたお礼の挨拶があり、本会議で高等学校と大学との活発な意見交換がなされるよう要望があった。

2. 県立学校長協会長挨拶

- ・県立学校長協会を代表して甲斐克彦都城西高等学校長より、数学・理科教育の意見交換は、画期的なもので、望ましい。学生が、高等学校から大学への段差を、スムーズに上っていけるようにするのは大事なことであり、それがこのネットワークの趣旨であるとの説明があった。

3. 議題

- ・高等学校から甲斐都城西高等学校長、工学部から本田工学部長の両名による共同議長で会議が進行された。

(1) ネットワーク設立の趣旨と経緯(説明)

- ・進行係より、**資料1**により説明があった。

(2) ネットワーク構築について

- ・進行係より、**資料2**により説明があり、その後各課題について議論された。

1) 工学部の基礎科目である数学・物理・化学教育の高等学校との円滑な接続について

- ・中崎忍材料物理工学科教授及び白上努物質環境化学科助教授より、高等学校と宮崎大学の物理教員、化学教員との連携についての現状が述べられた。
- ・高等学校より、この会議の到達目標をはっきり示してほしい旨の要望があった。
- ・設立の趣旨が一番の問題だと思って今日参加したという高等学校か

らの意見があった。

- ・ また、甲斐議長より、今日は設立総会なので、この様態で良いが、今後それぞれ分化会に分かれて話し合ったほうが良いのではないかと
の提案があった。
- ・ 中崎材料物理工学科教授より、分科会で諸問題を話合ったら、改善する点等、長い目で見ると、生徒のみの問題でなく、先生方についても教育的に良いのではないかと
の意見があった。

2) 推薦入学者の入学前の学習指導について

- ・ 進行係より、数学についての入学前学習についての説明があった。
- ・ 宮崎北高等学校と都城西高等学校より同学習についての報告があった。

3) 入学直後の基礎学力と大学での成績について

- ・ 進行係より、入学直後のテストと前期数学の成績について、グラフによる説明がなされた。
そのことを受けて、高等学校より、推薦入学した生徒について大学が検討していると
感じ安心した旨の感想があった。
- ・ その後、工学部で行われている数学の自主勉強会についての質疑応答等が活発になされた。

(3) 今後の運営について

- ・ 進行係より、資料3により説明があった。
- ・ 高等学校より、工学部が主体の図だが、他の学部はどうかとの質問があり、進行係は、
先ず工学部が基礎をつくり、次に宮崎大学全体の組織としていきたいと回答した。
- ・ 高等学校より、大学側が、高等学校の現場に足を運び、現状を見てほしいとの希望も
あった。
- ・ 大学側議長より、今後、数学についてもこのようなネットワークを進めていって
良いかとの質問に、宮崎西高等学校より、「小・中・高・大による「宮崎県数学教育研究会」
というネットワークがある。今回のネットワークを0から立ち上げていくのは大変だから、
先々そういうところをベースにするのも一案ではないか」との意見があった。

(4) その他

- ・ 進行係より、宮崎工業高等学校、宮崎南高等学校、宮崎西高等学校、佐土原高等学校、
都城西高等学校、妻高等学校、延岡星雲高等学校の7校を、「本教育ネットワーク」の幹事校
とすることの提案があり、了承された。

4. 閉 会